

(様式1)

# 個別施策評価調書

主管部	市民部	
関係部	-	-
	-	-

基本施策	I-3 スポーツと文化・芸術を振興する
個別施策	① スポーツの振興
個別施策の方向	すべての市民が、体力や年齢、興味や目的に応じて、スポーツに親しむことができる環境づくりに取り組む。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	21,412	人件費	27,698	事業コスト	49,110				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	1,411	一般財源	20,001
H28年度	決算	事業費	22,998	人件費	17,620	事業コスト	40,618				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	1,670	一般財源	21,328
H29年度	決算	事業費	24,472	人件費	17,040	事業コスト	41,512				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	1,588	一般財源	22,884

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	37.4%	37.3%	-0.1%
16) スポーツ・レクリエーション			

平成28年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
提言	つくば市に立地している筑波大学や研究機関と連携しながら、マラソンをはじめ身近な運動と科学的な側面からの健康との関連を検証するシステム構築等について検討してもよいのではないか。	

取組概要	<p>スポーツ大会は、「つくばマラソン」、「つくば健康マラソン」、「つくば学園ウォークラリー」、「スポーツフェスティバル」等を主催事業として開催し、また、「国際ウォーキング」、「ツール・ド・つくば」、「茨城オープン市長杯テニス」、「セキショウ国際女子オープンテニス」、「リレーカーニバル」、「スポーツ鬼ごっこ」等を共催事業として開催した。</p> <p>また、「つくばマラソン」においては、筑波大学や研究機関と連携し、「マラソンを科学する」を大会テーマに掲げ、「スタート」、「景観」、「給水・給食」、「ランニングフォーム」など様々な角度から考え、「進化してゆく大会」を目指して取り組んでいる。</p>
成果	<p>各種スポーツ大会の開催により、市民のスポーツ活動促進はもとより、スポーツを通じた市民交流を図ることができ、市外からの参加者には、つくばの魅力等を感じていただく機会を提供できた。</p> <p>また「つくばマラソン」では、フルマラソンに関し、コースを折返しから周回に変更してより広い走路幅を確保したこと、スタートウェーブを3回から4回に増やしてスタート直後の走路混雑を緩和したことなど、ランナーの安全確保及び円滑な大会運営を図ることができた。</p> <p>なお、「つくばマラソン」及び「つくば健康マラソン」では、大会に先立って、大学や民間企業と連携した練習会やクリニックを開催し、正しいランニング知識を学ぶ機会を提供できた。</p>
今後の課題	<p>「つくばマラソン」については、コース周辺道路、店舗・住宅の立地等の環境変化を勘案しながら、マラソンコース及び主会場等の変更も含めて、計画的に検討を進める必要がある。</p> <p>また、ランナーとして参加するだけでなく、ボランティアとしてのサポートや、沿道での応援等についても、市民に関心を持っていただき、一人でも多くの市民が大会に関われるよう工夫が必要である。</p> <p>さらに、「つくば健康マラソン」では、事前開催するクリニックが抽選になる状況であるため、より多くの方が参加できるよう、新たなプログラム等の検討が必要である。</p>
改善目標	<p>「つくばマラソン」では、必要なボランティアスタッフ確保を図り、沿道応援の活性化に向けた応援団体募集の広報強化等に取り組むとともに、コース公認の更新時期に合わせて、主催4団体及び関係団体と意見交換を行いながら、コース及び主会場に関する検討を行う。</p> <p>また、「つくば健康マラソン」では、好評を得ているクリニックの開催を継続しながら、新たな協賛者（団体・企業等）との連携も模索し、より魅力ある大会を目指して取り組んでいく。</p> <p>さらに、つくば市体育協会やプロスポーツ団体等と連携を進めながら、各団体が実施するイベント情報の広報・周知を図り、市民のスポーツ活動を促進するとともに交流機会の提供に取り組む。</p>

自己評価（主管部署評価）	
自己評価記述	<p>スポーツ大会等については、筑波大学やつくば市体育協会及び市内プロスポーツチーム等と連携して開催しており、「つくばマラソン」では、「マラソンを科学する」というテーマを掲げて、つくばの特色を生かした大会運営ができています。今後も引き続き、大会発展に向けて取り組むことが重要である。</p> <p>また、スポーツ・レクリエーションに関する市民満足度調査結果では、前回比でわずかに数値が下回っていることから、市や関係団体等が開催している「競技大会」から「レクリエーション」まで、様々なイベント情報の周知徹底を図るとともに、「見る」・「支える」というスポーツの楽しみ方についても、より多くの市民に伝えることにより、スポーツ施策の認知度を高めていく必要がある。</p>